

つどい

偕行アートクラブの活動

副幹事 佐藤 正 陸自78

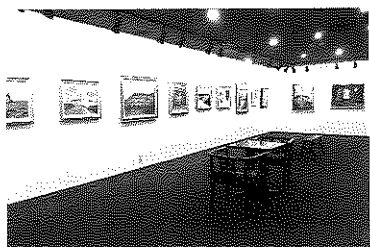
偕行アートクラブ（会長・山本俊介、陸士61期）は約40年の歴史を持つクラブです。かつては、同台アートクラブと称していました。

現在、会員は17名（従前会員7名、元自会員7名、家族会員1名、一般会員2名）で、毎月1回の例会（プロのモデルを呼びます）、年に数回のスケッチ会、秋の展覧会の開催、偕行文化祭への出展等の活動を行っています。山本会長を中心に、アットホームな雰囲気を楽しみながら、絵の技量の向上に努めています。

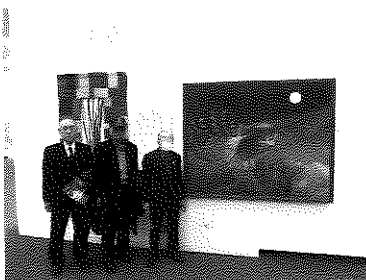


左の写真は昨年度の秋の展覧会（会期：9月25日～10月1日）の様子です。京橋の「ギャラリーびじゅた」で1週間にわたって開催しましたが、約500名の方に鑑賞していただきました。

鈴木一直会員（陸士60）は、先日、東京都美術館で開催された第2回「三軌ブリリアント展」（会期：2月28日～3月7日）に「森の王者」と題する大フクロ



ウの絵（100号）を出展されました。



右の写真は鈴木氏（右端、新型コロナウイルスウィルス対策のためマスク着用）の作品をバックに、鑑賞に訪れた偕行社会員の田中正和氏（陸士60、写真中央）、偕行社副理事長の熊谷猛氏（陸自57、写真左端）とともに撮影したものです。

展覧会の会期が、新型コロナウイルスによる感染症対策が厳しくなった時期と重なり、見学者もまばらでしたが、見応えのある力作を、ゆつくりと鑑賞することができました。

絵を描いてみたいという方は、偕行アートクラブに参加してみませんか？アートクラブの開催日は、「偕行」誌の告知板に書かれていますので、興味のある方は、気楽な気持ちで見学にいらしてください。お待ちしております。